

沼津高架P Iプロジェクト



ステップ2 実施状況報告

【第5回P I委員会】

ステップ2におけるP I 活動

- オープンハウス
- 車座談議
- 企業ヒアリング

オープンハウス

オープンハウスの実施状況

Step2-①（平成24年4月）

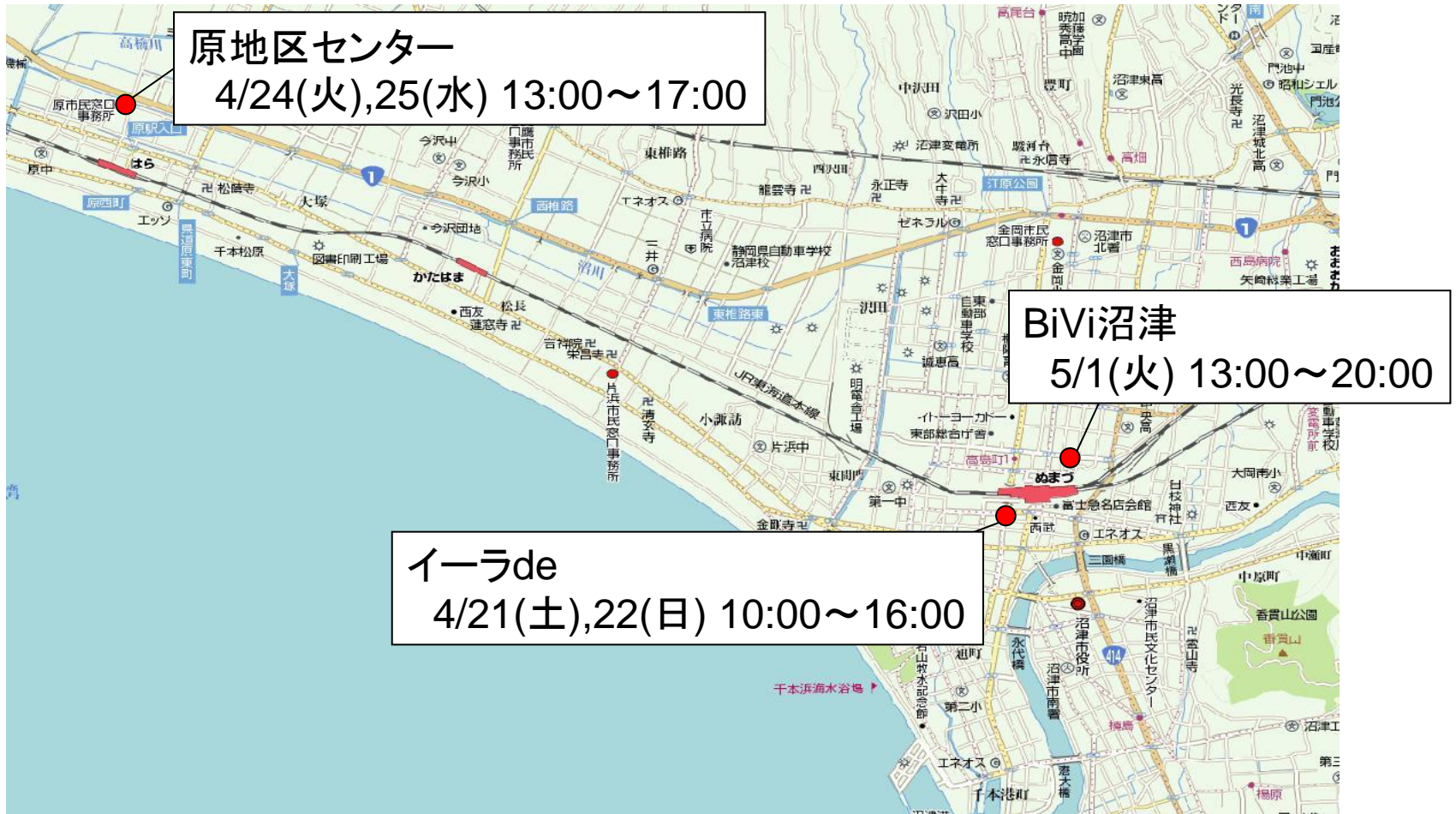
- PI実施計画の周知
- ステークホルダーヒアリング結果の情報提供
- 意見の聴取

Step2-②（平成24年6月）

- 地域を取り巻く情勢や周辺状況についての確認
 - ⇒テーマ①広域レベル：沼津市の財政状況
 - ⇒テーマ②、③地区レベル：これまで検討された計画
- PI実施計画の周知
- 意見の聴取

オープンハウスの実施状況

《Step2-①実施場所及び実施時間》



オープンハウスの実施状況

《Step2-①掲出パネル:PI実施計画》

沼津
高架
Public Involvement Project
PIプロジェクト

沼津高架PIプロジェクトとは

沼津高架PIプロジェクトでは、鉄道高架化や駅周辺開発、貨物駅移転など様々な論点について、市民の皆さんと徹底したコミュニケーションを図りながらオープンに議論します。

【背景】

○状況の変化

- ・少子高齢化、景気低迷
- ・東日本大震災の発生

○市民等との対話や ニーズ把握の不足

○行政の進め方に関する 不信や不満

など

【取組み】

●考え得る案を予断なく検討

- ・鉄道高架化
- ・駅周辺開発
- ・貨物駅移転

●市民等との対話を通じ、 オープンに議論

●透明で公正な進め方

【成果】

○沼津駅付近鉄道高架事業 等の方向付け

○市民ニーズの把握、反映

○信頼の確保

意思
決定

沼津高架PIプロジェクト

オープンハウスの実施状況

《Step2-①掲出パネル：PI実施計画》

沼津高架PIプロジェクト・PI実施計画

平成24年4月6日、PI実施計画を策定しました。
 まずは目指すべき目標を明確にし、一つ一つ確認しながら進めていきます。

●沼津高架PIプロジェクトのプロセス

H23	H24				
Step1 PI実施計画 の策定	Step2 目標の設定	Step3 代替素案(論点ごと)と 評価項目の設定	Step4 代替案(パッケージ)と 評価項目の設定	Step5 代替案の比 較評価	Step6 推奨案の選定
PI実施計画を策定しました。	鉄道高架や貨物駅移転、さらには沼津全体や移転先地区の現在の問題や将来像を検討し、プロジェクトの目標を定めます。	目指すべき目標を達成するための複数の代替案を予断なく検討し、比較評価の視点を設定します。 まずは論点となるテーマごとに代替素案を検討し、次にそれらを組み合わせ、相互に関連づけた代替案を検討します。		代替案を比較評価します。	意思決定にあたり推奨する案を選定するとともにその根拠を整理します。

今はココ！

沼津高架PIプロジェクト

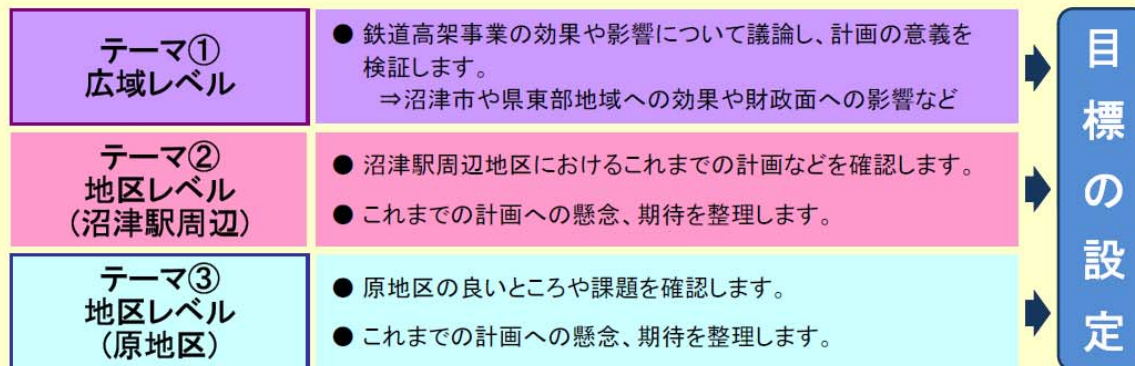
オープンハウスの実施状況

《Step2-①掲出パネル：PI実施計画》

沼津
高架
Public Involvement Project
PIプロジェクト

PI実施計画 [Step 2 目標の設定]

鉄道高架や貨物駅移転、さらには沼津全体や移転先地区の現在の問題や将来像を検討し、プロジェクトの目標を定めます。

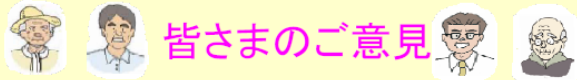


沼津高架PIプロジェクト

オープンハウスの実施状況

《Step2-①掲出パネル:SHヒアリング》

沼津 高架 Public Involvement Project
PIプロジェクト

 皆さまのご意見

■これまでの進め方について

- ・計画段階で合意形成がなかった
- ・交通のみで、まちづくりの視点がなかった
- ・先祖伝来の土地への思いが深い
- ・行政が決断せず、民間投資が逃げる

■PIの進め方について

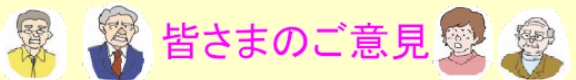
- ・第三者による客観的な評価は必要
- ・高架は1つの選択肢として、高架以外に他の活性化手段をさぐるべき
- ・土木やまちづくりの専門家を必ず入れる

■沼津市全体に関連して

- ・東部の拠点都市として、機能集積を図る
- ・膨大な費用と市の財政状況とのバランス
- ・貨物駅に対するニーズ、必要性の検証
- ・防災上の視点を取り入れる

沼津高架PIプロジェクト

沼津 高架 Public Involvement Project
PIプロジェクト

 皆さまのご意見

■沼津中心市街地に関連して

- ・鉄道高架ありきではなく、市の活性化ビジョンの話し合いから始めていくべき
- ・大規模再開発で商業は振興しない
- ・ガード付近で休日に渋滞、豪雨時に冠水
- ・まちの一体化のため、南北交通が必要
- ・高齢者などが平面で往来できる方が良い

■原地区に関連して

- ・総合的なビジョンがないので、住民同士で将来ビジョンを話し合う必要はある
- ・景観や文化など、数値化されていないものを評価して計画の中に位置づけてほしい
- ・道路拡幅などの要望が未実施
- ・貨物駅移転で環境悪化(騒音・排ガス等)
- ・貨物駅移転のメリット(雇用・避難場所等)

沼津高架PIプロジェクト

オープンハウスの実施状況

《Step2-①掲出パネル:航空写真》



オープンハウスの実施状況

《Step2-①聴き取り調査》

➤「目指すべき目標の設定」のための基礎調査

- この地区の良い点(地域資源)は何ですか？
- この良い点を活かすにはどうしたら良いと思いますか？
- この地区の改善すべき点(課題)は何ですか？
- この課題を解決するために、どうしたら良いと思いますか？

オープンハウスの実施結果《イーラde》

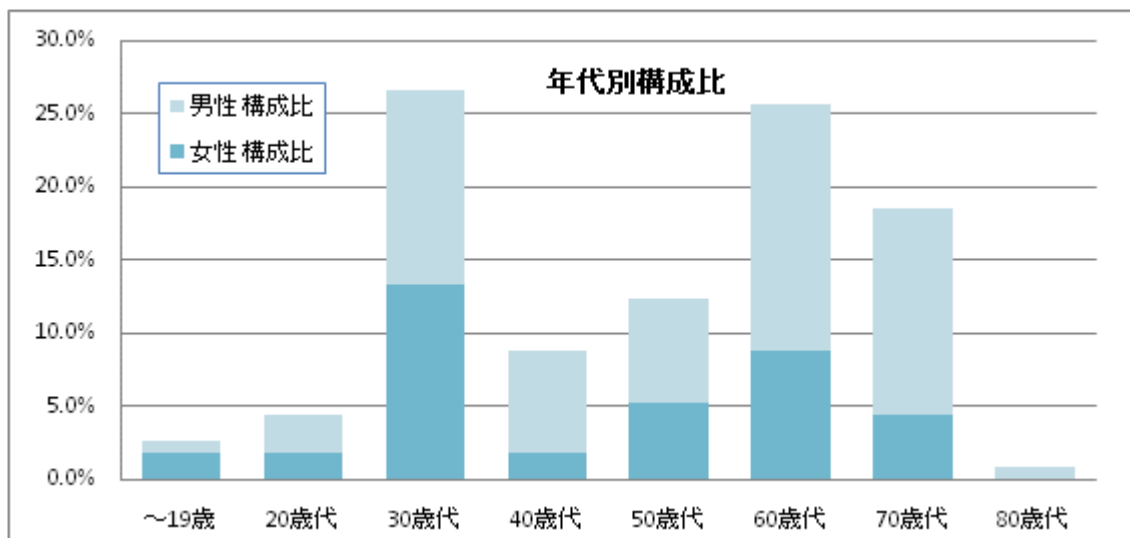
1. 実施日時 平成24年4月21日(土)・22日(日)
午前10時～午後4時

2. 聴き取り調査人数 113人

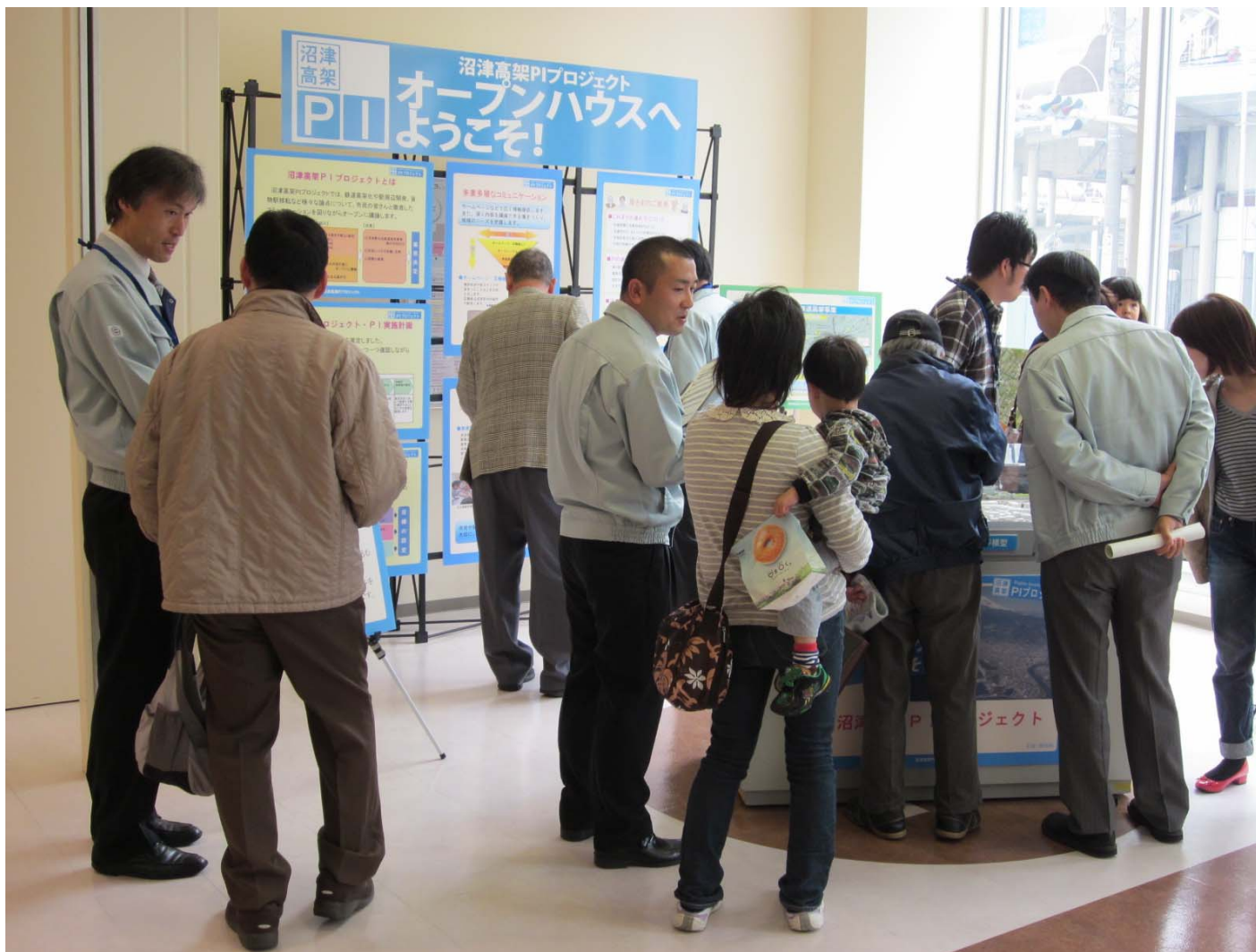
(1) 開催日別 21日(土):66人、22日(日)47人

(2) 男女別 男性:71人、女性:42人

(3) 年代別構成比



オープンハウスの実施結果《イーラdeでの様子》



オープンハウスの実施結果《原地区センター》

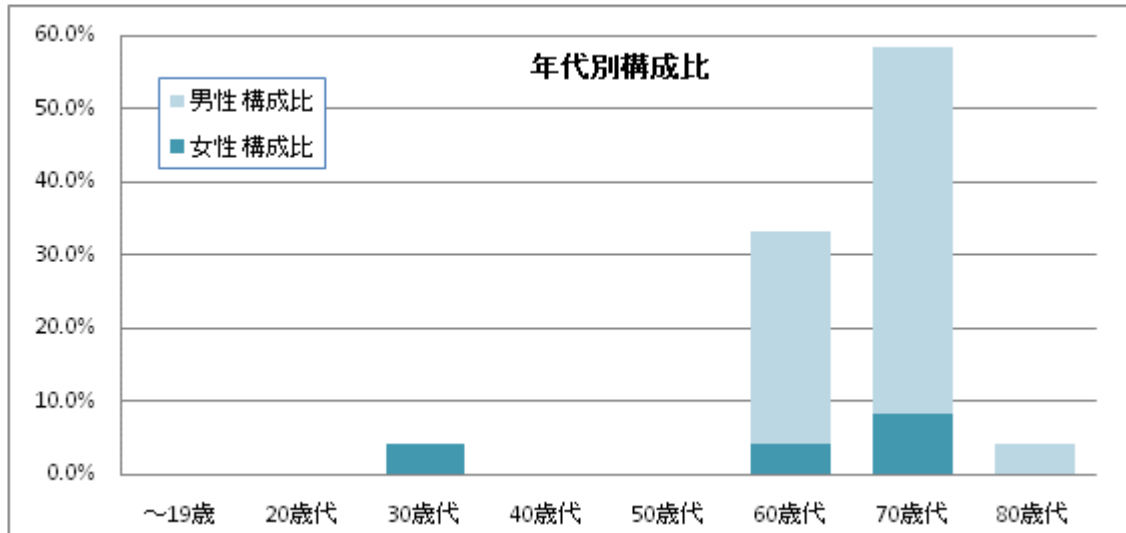
1. 実施日時 平成24年4月24日(火)・25日(水)
午後1時～午後5時

2. 聴き取り調査人数 24人

(1) 開催日別 24日(火):18人、25日(水)6人

(2) 男女別 男性:20人、女性:4人

(3) 年代別構成比

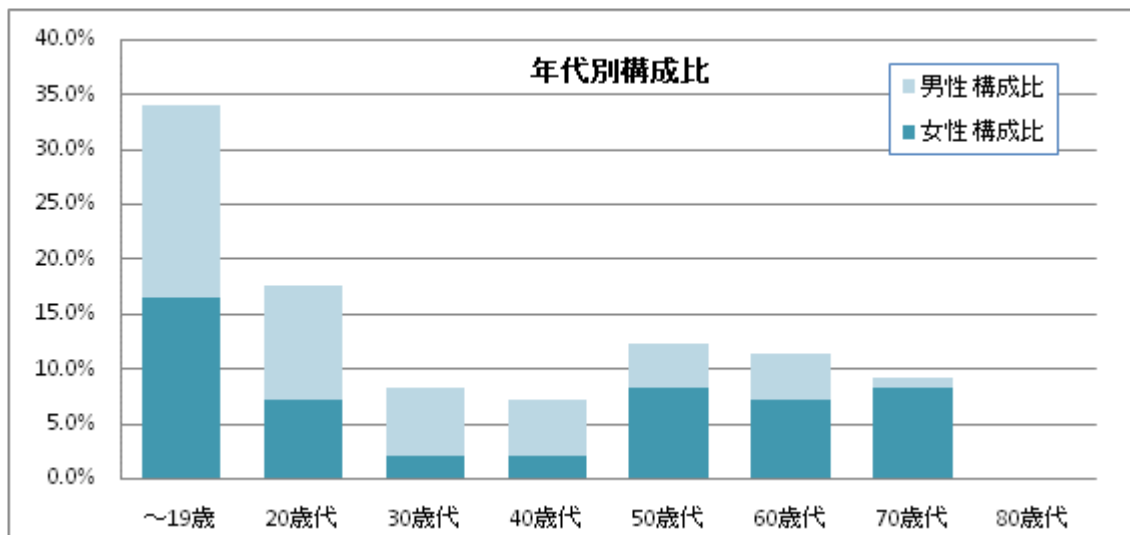
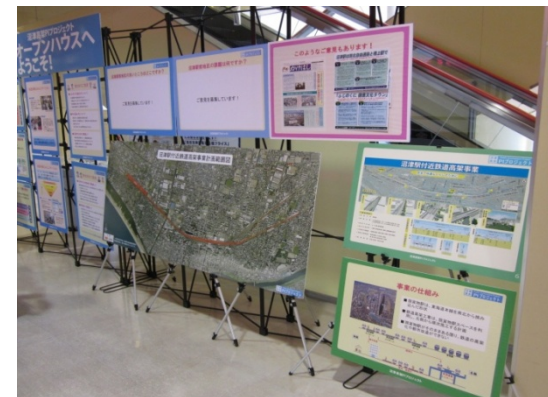


オープンハウスの実施結果《原地区センターでの様子》



オープンハウスの実施結果 ≪ BiVi沼津 ≫

1. 実施日時 平成24年5月1日(火)
午後1時～午後8時
2. 聴き取り調査人数97人
 - (1) 男女別 男性:47人、女性:50人
 - (2) 年代別構成比

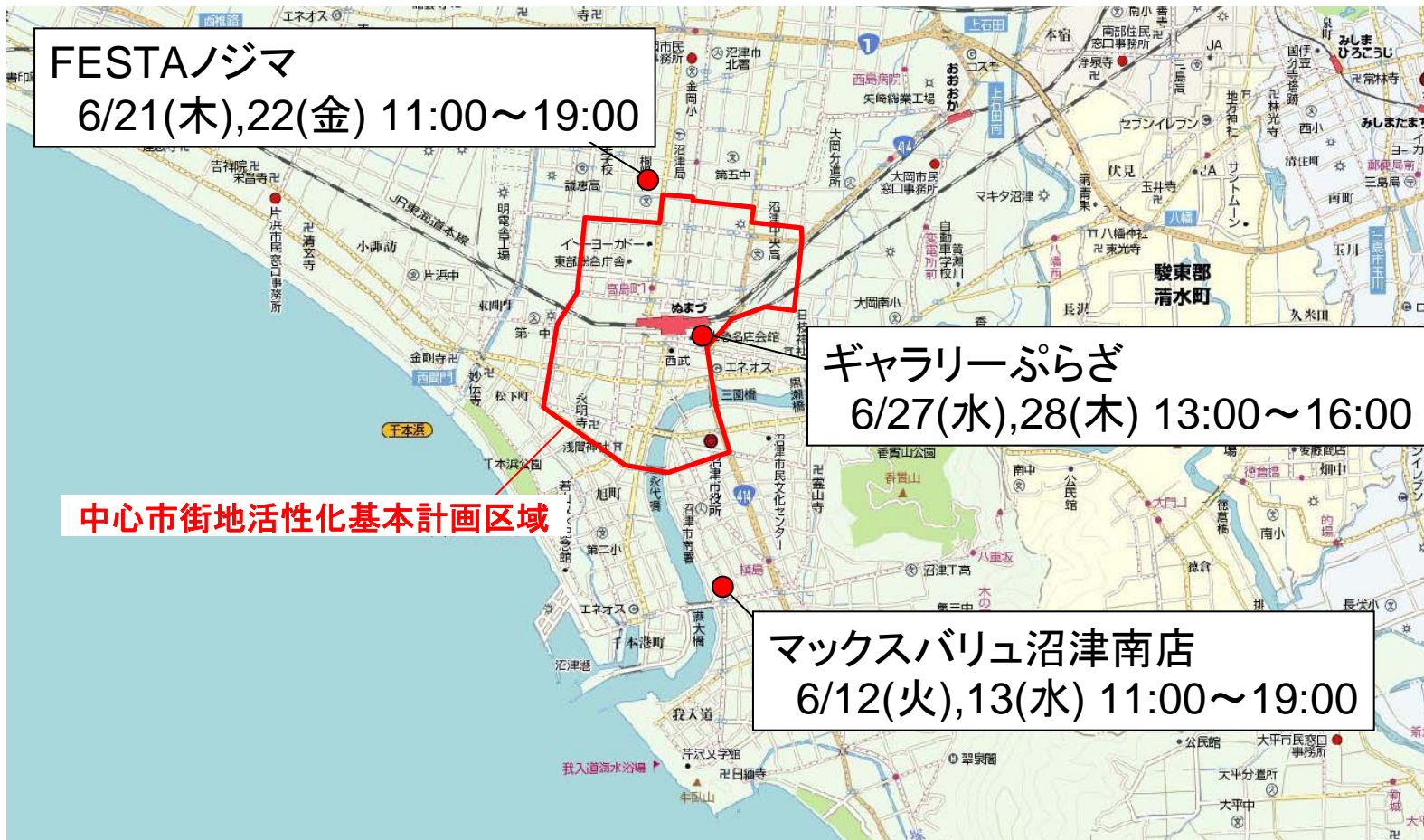


オープンハウス実施結果 ≪ BiVi沼津での様子 ≫



オープンハウスの実施状況

《Step2-②実施場所及び実施時間》



オープンハウスの実施状況

《Step2-②掲出パネル:これまで検討された計画》



オープンハウスの実施状況

《Step2-②掲出パネル: 地域をとりまく情勢》

沼津駅南北を結ぶ 3つのガードの状況

沼津市 Public Involvement Project
PIプロジェクト

【ミヅホガード】

ガードの様子

道路が非常に狭い車道のみのため交通渋滞の最甚化が懸念される

【あまねガード】

ガードの様子

ガードの幅が狭く、交通渋滞が懸念される

【のぼりみちガード】

ガードの様子

ガードの幅が狭く、交通渋滞が懸念される

交通量	自動車 15,636 台/日	バス 481 台/日
	バイク 302 台/日	自転車 2,888 台/日
	歩行者 1,862 人/日	歩行者 1,216 人/日
	歩行者 492 人/日	

※交通量は平成22年11月の平日の調査実測値

沼津高架PIプロジェクト

沼津市津波ハザードマップ 全市版

津波到達時間 約5分

津波到達時間 約5-8分

津波到達時間 約10分

津波からの避難手順

緊急避難

津波の危険あり

緊急避難

【少しでも早く・少しでも高く】

●津波避難ビルなど
●崖山など高台

東海地震発生宣言の発令

避難地へ

①避難地 津波危険地域中山・崖崩れ危険地域の方が、警戒宣言発令時に、自分の身を守るためにあらかじめ避難を行うための場内で、クランやなど屋外の広い場所を指定しています。避難時には防食食品があまり市の場合が指定されます。なお、地震発生までに時間的余裕がある場合には、津波からの避難のため、おりに沿って離れた避難地等へ逃げることも重要となります。突発地震による津波からの緊急避難は、津波避難ビルや津波避難所等を利用して少しでも早く、少しでも高いところへ逃げてください。

②避難所 地震や津波などの災害発生後、自宅が被災し生活することができない人が避難生活をする場所です。主に学校等の公共施設にあり、基本的に避難所と同一棟となります。避難所は自主防災組織が中心となり、生活の場を提供するほか、給食、給水、情報の提供などの機能があります。

○このマップは、静岡県第三次地震被害想定及び東海地震(1954年)による想定津波を基としています。また、静岡県による第四次地震被害想定発災後に改訂を行います。本業はそれまでの暫定版となります。

■お問い合わせ先 〒415-8501 沼津市本町1-1-1 沼津市危機管理課 沼津市危機管理課

オープンハウスの実施状況

《Step2-②掲出パネル：沼津市の財政状況》



オープンハウスの実施状況

《Step2-②掲出パネル：Step2-①OHで伺った意見》

沼津高架 Public Involvement Project
沼津高架 PIプロジェクト

皆様のご意見

Step2のオープンハウス(4月21日～5月1日)で
聴き取ったご意見の一部を紹介します。

■イーラde(4月21日・22日)

- 財政面が心配。高架の費用対効果は合っているのか？
- 商業が衰退し、まちに賑わいが無い。目的地となる目玉がない
- 南北交通が不便(渋滞、歩道がない・狭い、ガードが冠水するなど)
- 南北自由通路のみでは、自転車の通行に対応できない
- 地盤が悪く、津波浸水区域が広い。防災対策を充実してほしい
- 公園のような子供が遊べる場所がほしい
- 高架事業に関心のない市民にも、考えてもらうことが重要

■原地区センター(4月24日・25日)

- 「健康文化タウン基本構想」を提案しているグループもある
- 高架事業の目的は何か、説明が不足している
- 原地区の社会資本として、道路整備が必要である
- 病院や美術館、雇用の見込める施設がほしい
- 高架事業の予算を津波対策に使ってほしい
- 原から見る富士山、納園と呼ばれたほどの農作物が自慢である

■BiVi沼津(5月1日)

- 財政面が心配である
- 南北交通が不便(渋滞、歩道がない・狭い、踏切待ちなど)
- 高架事業の何が問題になっているのか知らなかった
- 駅周辺にデパート・書店・音楽施設などがほしい
- 行政や民間大手の支店などが多く、東部地域の拠点都市である
- 沼津は静かで住みやすい。BiVi・映画館・デパートなども良い

※ これらは、聴き取ったご意見を要約したものです

沼津高架PIプロジェクト

オープンハウスの実施状況

《Step2-②聴き取り調査》

➤「目指すべき目標の設定」のための基礎調査

- このまちの課題は何ですか？
- 今後のまちづくりで重視すべきことは何ですか？

オープンハウスの実施結果《マックスバリュ沼津南店》

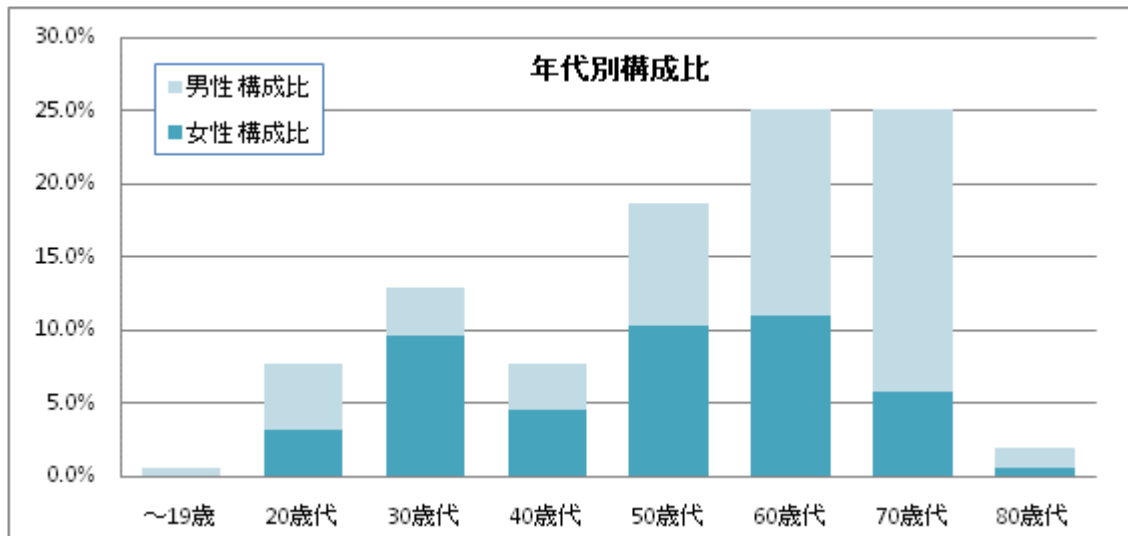
1. 実施日時 平成24年6月12日(火)・13日(水)
午前11時～午後7時

2. 聴き取り調査人数 155人

(1) 開催日別 12日(火):66人、13日(水)89人

(2) 男女別 男性:85人、女性:70人

(3) 年代別構成比



オープンハウス実施結果《マックスバリュ沼津南店での様子》



オープンハウスの実施結果《フェスタノジマ》

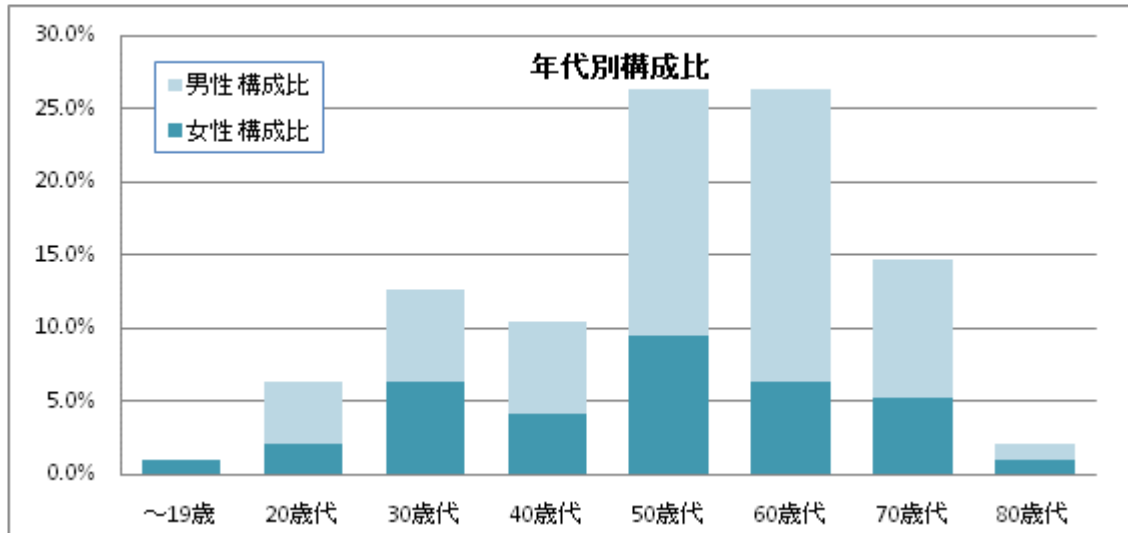
1. 実施日時 平成24年6月21日(木)・22日(金)
午前11時～午後7時

2. 聴き取り調査人数 95人

(1) 開催日別 21日(木):53人、22日(金) 42人

(2) 男女別 男性:61人、女性:34人

(3) 年代別構成比



オープンハウスの実施結果《フェスタノジマでの様子》



オープンハウスの実施結果《ギャラリーふらざ》

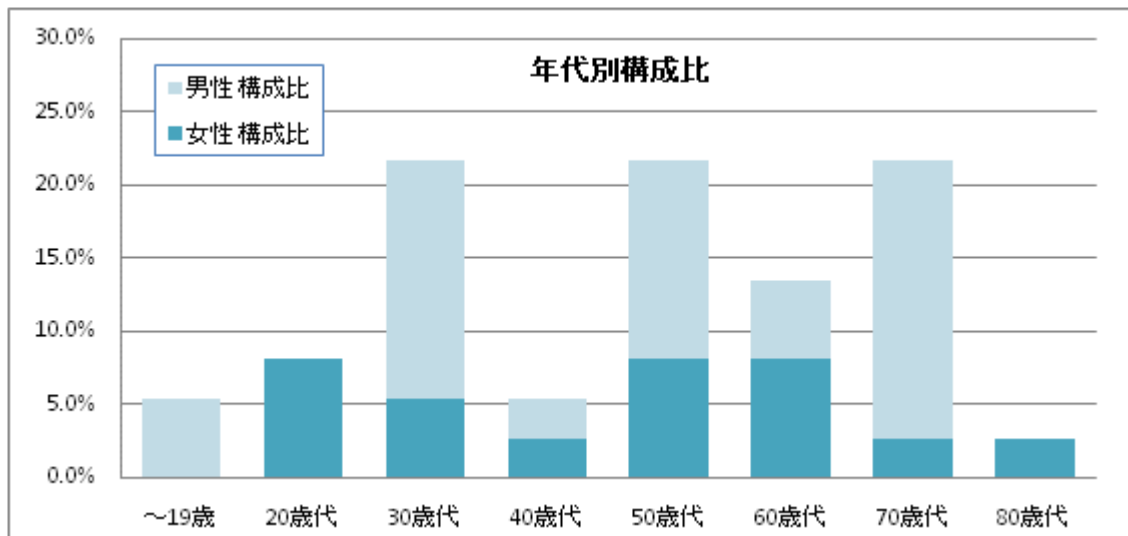
1. 実施日時 平成24年6月27日(水)・28日(木)
午後1時～午後4時

2. 聴き取り調査人数 37人

(1) 開催日別 27日(水):20人、28日(木) 17人

(2) 男女別 男性:23人、女性:14人

(3) 年代別構成比



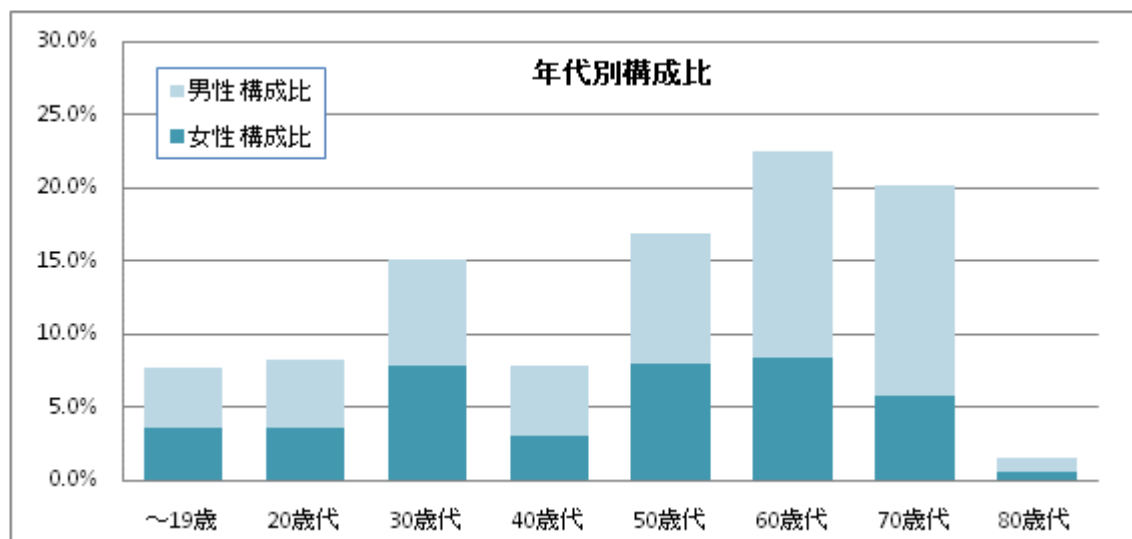
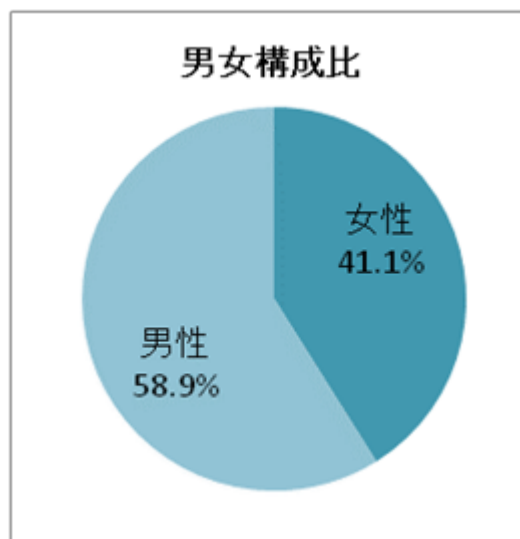
オープンハウスの実施結果《ギャラリーふらぎでの様子》



オープンハウスの実施結果《実施時間・聴き取り調査人数》

実施時間及び聴き取り調査人数

	実施時間	聴き取り調査人数
Step2-①	28時間	234人
Step2-②	38時間	287人
合計	66時間	521人



皆さんからのご意見

① 地域資源

保全・活用すべき地域の自然や歴史的資源などに関するご意見

② 現状の課題

地域づくりを進めていく上での課題に関するご意見

③ 地域づくりへの期待や懸念

地域づくりを進めていく上での期待や不安に関するご意見

④ 鉄道高架事業に対するご意見

⑤ PIプロジェクトに対するご意見

皆さんからのご意見 ①地域資源

- 豊かな自然
 - 富士山が見える
- 食材が豊富
 - 海の幸、寿司
 - みかん
- 納園と呼ばれたほどの農作物が自慢である
- 静岡県東部地域の拠点都市である
 - 東部地区の行政や民間大手の支店が集積している
 - 多くの商店街や商業施設がある
- 沼津駅周辺に高校が多く、沼津市の内外から高校生が集まる



原地区からのぞむ富士山

皆さんからのご意見 ②現状の課題

- 商業の衰退
 - まちに賑わいが無い
 - 商店街が元気が無い
 - 活気が無い
 - 目的地となる目玉が無い
- 西武が撤退して、まちの今後が心配
- 高齢化、人口減少
- 沼津市の財政面が心配
- 地震・津波・液状化が心配
- 駅周辺の南北の往来が不便
- 踏切での待ち時間が長い



沼津市津波ハザードマップ

皆さんからのご意見 ②現状の課題

- 沼津駅周辺におけるガードの交通状況
 - － 渋滞する(特に週末・祝日が多い、前後の信号機が原因)
 - － 歩道が狭い、暗くて怖い
 - － 大雨で冠水する
 - － 線形が悪い
 - － あまねガードは、自転車に乗ったまま通行できない



三ツ目ガードの様子



あまねガードの様子

皆さんからのご意見 ③地域づくりへの期待や懸念

- 子供が住みやすく、安全で明るいまちづくり
- 老人が安心して住めるまち、老人が歩きやすいまち
- 若者が集まり働ける場所があるまち
- 50年・100年先を考えたまちづくり
- 若い人が集まる商業施設や大学などがあれば良い
- あらゆる世代を呼び込める店舗や大型ショッピングモールがほしい
- 千本松フォーラムの完成をきっかけにしたい
- 沼津港は賑わっているなので、駅や新東名SAなどと面的に周遊できるルートを検討する
- 海、海岸線、港、千本浜、新東名SA、国道1号沿いの桜など、既存の地域資源を活用する

皆さんからのご意見 ③地域づくりへの期待や懸念

- 商店街を中心とした従来型のまちづくりは、時代に合わない
- 区画整理事業を中途半端にせず、最後まで施工してほしい
- 高架化により景観が悪くならないか心配
- 中心市街地の空洞化
- 公共交通機関の路線・本数の減少
- 地震対策・津波対策、防災の視点を取り入れる
- 費用や期間を考慮してほしい
- 企業誘致などで、人口を増加させる努力が必要
- 高架化で賑わいが戻るという前提ではいけない
- 沼津駅周辺に無料駐車場を整備してほしい
- まちなかに憩いの場となる大きな公園がほしい
- 健康文化タウン基本構想

皆さんからのご意見 ④鉄道高架事業に対するご意見

- 高架事業の目的は何か、説明が不足している
- 高架事業の何が問題になっているのか知らなかった
- 駅周辺に住んでいても、高架事業に無関心な人が多い
- 鉄道高架ではなく、橋上駅や南北自由通路で十分
- 早く鉄道高架事業を進めてほしい

皆さんからのご意見 ⑤ PIプロジェクトに対するご意見

- オープンハウスのPRが不足している
- PIということばがわからない
- パネルは文字よりも写真を多くし、グラフは棒グラフにする
- 模型やパネル展示でわかりやすかった
- PIは鉄道高架を推進するために行っている気がする
- 既に決定したことに時間を掛けるのは無駄である
- 人が多く来る施設でのオープンハウスはとても良いと思う
- オープンハウスの取組みは大変良い、声の大きい人だけでなく、声の小さい人の意見にも耳を傾けるべき

車座談議

車座談議の実施状況

《Step2での車座談議の内容》

- PIの進め方の説明
- 勉強会の趣旨説明や参加者選出依頼
- 鉄道高架事業を含む一連の計画などについての
情報提供及び意見交換

車座談議の様子

実施回数：17回（18団体、延べ108人）

実施した団体：自治会、商工関係者、NPO団体、
鉄道高架事業に関心の高い団体など



車座談議で伺った意見

《鉄道高架事業に対する意見》

- ・鉄道高架事業のみでなく、今後のまちづくり全体で議論をするべきだと思う
- ・長い年月をかけて計画し、都市計画決定もされ、事業認可も取得している鉄道高架事業は進めるべきである
- ・沼津駅は、自由通路と橋上駅程度で十分である
- ・沼津市の財政が心配である

車座談議で伺った意見

《 PIプロジェクトに対する意見 》

- PIで自分たちの意見を聞いてもらえる
- 勉強会の内容や資料を公表して欲しい
- PIで出された意見や質問などに対応して欲しい
- 公正にPIを進めて欲しい
- 沼津高架PIには期待している
- 今さらPIを実施する必要はない
- PIは高架ありきで進むのではないか
- PIの方向性が見えない
- PI実施計画がわかりにくい
- 勉強会の進め方がよくわからない
- 鉄道高架事業は県と市の共同事業であるが、それぞれのPIに対するスタンスが違う

事業者ヒアリングの状況

事業者ヒアリングの状況／JR東海

■ 沼津駅付近鉄道高架事業に対する考え方

「沼津駅付近鉄道高架事業は、沼津市都心部における交通の円滑化や南北市街地の分断の解消を目的として、事業主体である静岡県が計画した都市計画事業。JR東海は、静岡県が策定した現在の高架事業計画について協議を受け、鉄道事業への影響を検討した上で、当該事業計画に協力すべく同意したものの。」

■ 沼津高架PIプロジェクトに対する考え方

「JR東海は既に、静岡県が策定した現在の高架事業計画について協議を受け、同意している立場。沼津高架PIプロジェクトは事業主体である静岡県が、改めて事業等の方向付けをするために進めているということなので、県がPIの結果として協議内容を変更する場合には、県から協議されるものと認識。」

■ 事業計画変更の影響

「事業の変更を計画する場合は、従前のJR東海の対処方を変更することが必要となると思われるので、早急に協議いただきたい。」

事業者ヒアリングの状況／JR貨物

■ 沼津駅付近鉄道高架事業に対する考え方

「沼津貨物駅の機能が維持されることを前提として、事業の推進に協力している。なお、貨物駅の機能維持は、貴県が各所との調整を経て策定された現在の移転計画によりなされるものと考えている。」

■ 沼津高架PIプロジェクトに対する考え方

「本事業及び一連のまちづくり計画について、あらためて方向付けをするために、静岡県が行政上の取り組みとして実施しているものと認識している。」

■ 事業計画変更の影響

「事業計画変更の内容、程度に関わらず、現在の沼津貨物駅の機能は当然、維持されるものと考えている。なお、本事業を変更する際は事業主体である静岡県から、あらためて協議があるものと認識している。」

また、区画整理事業エリアにも土地を所有するため、換地計画が完了しない状態で事業が中断、或いは長期化することとなれば土地利用上大きな制約、影響を受けることとなる。」

これまでの意見等に対する対応

■ ステークホルダーヒアリング冊子に対する意見

◇挿絵に対する意見（静岡新聞にも投稿あり）

◇内容に対する意見

- ・ 発言者の意図と違った文章表現がなされている
- ・ 健康文化タウン構想に対する説明が不足している
（静岡新聞にも投稿あり（広報紙に記載がない））

【対応】

- ・ 挿絵の変更
- ・ 発言者から指摘のあった意見については、発言の意図を確認し、文章を修正
- ・ 健康文化タウン構想についての記載を修正
- ・ 静岡新聞投稿に対する紙上での回答と投稿者への説明

■勉強会メンバー選定状況

【車座談議等での意見】

- ・ 県は推進方針で事業を推進するといっている
 - P I は高架ありきで進むのではないか
 - 今さらP I を実施する必要はない
- ・ 勉強会の進め方が不安

【対応】

- ・ 県のP I に対する取組姿勢や勉強会の進め方の具体的なイメージを改めて周知
- ・ ステップ2の議論を広報紙による問いかけや車座談議を通じて進めながら、P I の取組についての理解を深め、勉強会の発足を目指す

PI に対する取組姿勢

- 考え得る案を予断なく検討
- 市民等との対話を通じオープンに議論
- 透明で公正な進め方
 - ・PI 委員会による監視、助言、評価

広報紙による問い合わせ内容

- ・ これからの沼津駅周辺、原地区のまちづくりで心配なこと
- ・ 沼津駅周辺、原地区でこれから取り組むべきこと
- ・ 沼津駅周辺、原地区で将来、避けるべき状況
- ・ 沼津駅周辺地区に必要な機能、空間
- ・ 現計画の総合整備事業に期待すること、心配なこと
- ・ 原地区の守りたい地域資源
- ・ 原地区をどんな地域にしたいか

【ステップ2で県が確認すること】

- 県東部地域を取り巻く状況
- 地域のビジョン
- 避けるべき状況

ステップ2の進め方

